

# 126」2の 広場

2023.3



撮影場所：霞城公園



## ミッション

・患者さんに優しく信頼される医療で社会に貢献します。

## ビジョン

- ・神経難病(てんかんを含む)、重症心身障がい、リハビリテーション、結核、高齢者に対して良質な医療を提供します。
- ・医療連携を密にして地域に開かれた医療を目指します。
- ・良き医療人として知識・技術と人間性を養い常に自己研鑽に努めます。
- ・医師、看護師等の人材を確保し健全な経営基盤を構築します。

## 目次

- ポストコロナ時代の病院を一緒に作りましょう ……2
- 車椅子をご寄贈いただきました ……3
- 1・2月誕生会／職場紹介 ……4
- 料理コーナー ……5
- 外来担当表／編集後記 ……6

# ポストコロナ時代の病院を 一緒に作りましょう

院長 川並 透

2020年3月に日本に來襲した新型コロナウイルス感染症は、ポストコロナ時代に入ってきました。本年度からは新型コロナウイルス感染症大流行以後の病院活動の再建にはいります。

これまで、入院中の皆様には外出制限を、ご家族様には面会制限を厳守いただき、ありがとうございました。生命の危険がある場合の個室面会の例外規定は一回2名までをご了解いただき、この点も御礼申し上げます。

今年度のわたくしたちは医学的知識にもとずき妥当な方針を検討し段階的に新型コロナウイルス感染症対策を変更してまいります。具体的な内容はご家族への個別の電話連絡や病院ホームページに広報をいたします。

「医学的に妥当」かどうかは、新型コロナウイルス感染症対策で多くの論争を呼びました。マスク着用をしなくて良い、ワクチン接種は薬害を生じるなどの主張がなされました。一層深刻な議論は感染症を食い止めるためには社会全体としてどう取り組むかという問題です。

新型コロナウイルス感染症は感染する、だから感染者との接触をさけて流行を阻止する。その方策として、ロックダウン(強制)か自発的な行動を推進するかで2つにわかれしました。流行当初は社会制度や歴史的背景の違いから強制(欧米のロックダウン、中国のゼロコロナ政策)と強制の軽いシンガポール、韓国などの2つの対応がありました。

全く異なる主張としてイタリア人アガンベンは「健康への脅威が問題となれば、人間は自由の制限を受け入れるらしい」といい、強制による感染症対策は健康教による市民的デモクラシーの終焉であると訴えています。

様々な主張がありますが、山形病院は、医療人としてできる限り最新の医療情報を収集し、妥当性を吟味して皆様方にお知らせします。最も正しいと考えられる医療情報にもとずいてポストコロナ時代の病院を一緒に作りましょう。わたくしたちから、そして皆様方からの言葉がお互いを救いますように。



# 東北楽天 ゴールデンイーグルス様より 車椅子をご寄贈いただきました

庶務係長 相馬知加子

2月9日、東北楽天ゴールデンイーグルス様より車椅子1台をご寄贈いただきました。

この車椅子は、楽天イーグルスの選手が楽天モバイルパーク宮城でホームランを記録した試合数と同数(30台)の車椅子を寄贈する「イーグルスホームランチャリティー supported by S M B C 日興証券」企画の一環としてご寄贈いただいたものです。

当院では車椅子を利用される方も多いため、今回のご寄贈はととてもありがたいものでした。こちらの車椅子は当院外来にて大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



# 1・2月誕生会

療育指導室 療育指導室長 三浦 宗隆



新年を迎え、1月はそれぞれ2・3病棟にて誕生会が賑やかに行われました。2病棟では誕生者のお祝いの他、お正月遊びの一つでもある『福笑い』で楽しみました。また鏡開きで大きな酒樽を叩くと、中から福の神がドーンと登場。福を沢山撒いてもらい、2023年も健康で穏やかに過ごせますよう皆で祈願しました。3病棟では2週にわたり、誕生者のお祝いとお楽しみ会で楽しみました。こちらもお正月の風物である『福笑い』『鏡開き』『おみくじ』の多種多様な楽しい遊びや催し。最後は皆でおみくじで今年の運勢しを行い、笑顔に溢れた年始の誕生会で楽しく過ごしました。



まだまだ寒さが続く2月は、2・3病棟合同での誕生会を開催することが出来ました。

“節分”をテーマとした内容で、赤と青の怖い鬼の登場と思いきや、各病棟の看護師長扮する仲の良い穏やかな鬼にみな一安心。鬼が持っている大きな袋に豆を投げ入れていく、病棟対抗の豆入れ合戦で大いに白熱し、盛り上がりました。

その他、紙風船を沢山身につけた鬼も登場。会場に集まった皆で力を合わせ、大きな金棒で一人ずつ紙風船を叩き割り、一年の厄払いと沢山の福が訪れることを願い、最後まで節分の活動を存分に楽しみました。久々の病棟合同での活動となり、病棟間の交流も交えて、これから訪れる暖かい春を願いながら、賑やかで楽しい一日となりました。

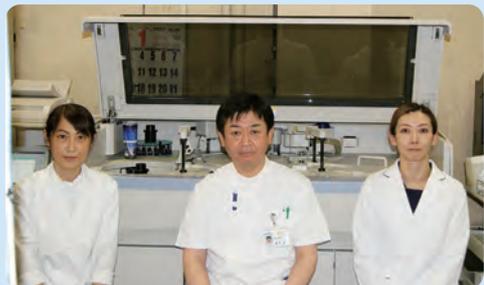


## 職場紹介

### 検査科

臨床検査技師長 葛西 淳

臨床検査技師は、主に検体検査（血液や体液などの成分分析）や生体検査（心電図・脳波・超音波検査など）を生業としますが、来院されても私たちの存在に気付く方はそう多くはないはず。歌舞伎でいうところの黒子のような存在ではありますが、「患者さんに優しく信頼される医療の提供を目指す」という当院の理念を全うすべく、医師の的確な診断を支えるため、力を合わせ日々精進しております。



2023年2月14日

## バレンタインメニュー

栄養管理室 副調理師長 木村 誉

2月14日は大切な人に想いを伝えるバレンタインデー！！

街のいたるところで、たくさんの種類のチョコレートが販売されていますが、摂食嚥下障害の患者さんは硬いチョコレートは食べることはできません。

そこで💡山形病院独自のオリジナルチョコレートを毎年提供しております。見た目も良く、舌触りや喉越しも良く歯茎で押しつぶせる固さで、とても美味しいチョコレートに仕上げました。

作り方は、企業秘密になっております笑笑！！チョコレートを食べて笑顔いっぱいになりますようにい～

どうぞ！！お召し上がり下さい。



### 国立病院機構 山形病院 外来診療担当表

令和5年4月1日

区 分	月	火	水	木	金	備 考
脳神経内科 (頭痛・めまい・しびれ)	亀谷紫芙美	川並 透	黒川 克朗	亀谷紫芙美	川並 透	8:40~12:00
	宮林 隆夫	小林 和夫	小山 信吾	小山 信吾	小林 和夫	
				加藤 丈夫		
認知症外来	※	—	—	—	※	月曜日 8:40~12:00 金曜日 12:30~17:00 ※当院脳神経内科医対応
呼吸器内科	—	布宮 慶子	寺下 京子	—	寺下 京子	8:40~12:00
循環器内科(※)	—	太田 郁郎	—	—	—	※病棟対応13:00~
小 児 科 (※)	渡邊 王志	石川 明雄 <山形大> 中村 和幸 <山形大>	松木 惇 <山形大> 荻野 大助 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 上村 雄太 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 石垣 隆介 <山形大>	※病棟対応
精 神 科	—	—	齋藤 裕介	—	—	9:00~12:00
て ん か ん	守川 新人	宇留野勝久	宇留野勝久 守川 新人 (新患)	守川 新人	宇留野勝久	8:40~12:00 (水曜日は新患)
	—	—	—	—	宇留野勝久	14:00~15:00
リハビリ テーション科	—	豊岡 志保	—	豊岡 志保	—	9:00~12:00
脳神経外科	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~12:00
手話外来	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	(9:00~15:00)
整形外科	<山形大> (第2・第4)	—	—	—	<山形大> (第2・第4)	9:30~12:00
放射線科	—	桐井 一邦 <山形大>	—	—	鹿戸 将史 <山形大>	13:30~16:00
歯 科	—	—	<山形大>	<山形大>	—	水曜日 14:00~16:00 木曜日 13:30~16:00
高次脳機能 障 がい 科	—	—	—	鈴木 匡子 (隔週) <東北大>	—	9:30~12:30 予約窓口:高次脳機能 障がい者支援センター TEL.023-681-3394
糖 尿 病	—	—	—	<山形大>	—	8:40~12:00
耳 鼻 咽 喉 科	—	—	—	<山形大>	—	15:00~
皮 膚 科(※)	—	—	—	—	荒木 由梨 <山形大>	※病棟対応(第2・第4金曜日)

(学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。)

- ◆初診受付: 平日8:30~11:30
- ◆再診(予約外)受付: 平日8:30~11:30
- ◆休 診 日: 土曜日、日曜日、祝日、  
12月29日~1月3日
- ◆急患は随時受け付けますが、来院前に必ず  
ご連絡ください。  
(☎023-684-5566)
- ◆紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示ください。
- ◆地域医療連携室  
(☎代表023-684-5566/FAX023-681-9477)

#### 編集後記

長い長い冬がやっと終盤に差し掛かっている今日この頃。冬の厳しさがあってこそ、春の訪れが喜ばしいと感じるのでしよう。コロナ禍の厳しさもやっと緩和の兆しが見えてきました。コロナ禍にもやっと春がやってくるかもしれないと思うとワクワク。どこかに行こうかな。(M.H)



独立行政法人 国立病院機構山形病院

〒990-0876 山形市行才126-2

TEL023-684-5566(代)

FAX023-684-2519(代)

発行責任者 宇留野勝久

編 集 山形病院広報委員会

